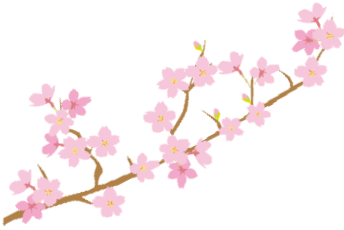


2021年度 千曲・坂城地域自立支援協議会だより Vol.3

2022年3月吉日



桜の花が散る前に

卒業を迎える方、新しいことに挑戦を始める方、第一線を退く方…人生の節目となる季節であつたり、いろいろな思いが行き交う季節でもあります。そして、年度の締めくくりでもあります。

自立支援協議会も、今年度、協議会の体制を検討してまいりました。運営委員会の構成メンバーの検討や事業所連絡会は、専門部会を中心に地域の課題を整理し、さらに深く協議する方向となり『地域連絡会』に名称を変更しました。そして、亡き湯原会長の後を、いなりやま福祉会の安藤理事長が引き継ぎ、2022年度新たな体制でスタートすることになりました。

突然ですが

なまけるな イロハニホヘト 散桜



小林一茶の句です。

協議会では「誰もが安心して暮らす」ことを目指し、地域の課題を協議する場です。人材不足だから、現場が忙しいから、コロナ禍だから仕方がない等々。なまけず、言い訳はせず、考えて、学んで、行動に移さなければと分かってはいても、ついさぼってしまいます。早々できるものではないです。ましてや一人で頑張ることなどできません。桜の花が散る前に、皆さんで知恵を出し合い、話し合い、地域づくり、人づくりをすることが、暮らしやすい地域になっていくのだと、この句から感じました。

皆さんは、どのように感じられましたか？

・さんきゅーあーと展が開催されました！

令和4年1月17日(月)から28日(金)、千曲市役所 1階 ガレリア にてさん・さんネット部会主催の「さんきゅーあーと展」～さん・さんスマイルコレクション～が開催されました。新型コロナウイルス感染の急拡大により、同期間に開催を予定されていた全体会の内容も一部が中止となり、人が集まるのだろうかと心配しましたが、多くの方にご来場いただき無事終了しました。

作品の応募は、14団体から個人作品が46点、団体作品が5点、共同作品「希望の丘」には164人の方にご参加いただきました。また「希望の丘」は、来場された方にも声をかけ、期間中に新たに153人の「希望」や「想い」が加わり、とても素敵な作品になりました。

ご協力いただいた皆さん、本当に有難うございました。

来場された方や多くの事業所からあたたかいメッセージや次回を期待する声をいただき、次年度に向けて検討していきたいと考えています。より多くの当事者の方、事業所の皆さんと一緒に「みんなで作る作品展」が開催できたら素敵ですね。

※ 4面に「さんきゅーあーと展 ★ ぎやらりー」を掲載しています

事業所連絡会等の報告

◇臨時 運営委員会 (令和4年1月25日)

【報告】

①精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場については、障がい福祉計画に位置付けられており、こころ支援部会の中で協議している。こころ部会とは別組織で医療・福祉・地域関係機関・当事者を含めて構成メンバーを選ぶ。基幹が中心になり声をかけ、現段階での委員が決まり、これからスタートする。

(精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの協議の場=Nimo包括として3/9に第1回会議を実施)

②第3回事業所連絡会の報告等。

③全体会について:

企画を分散して行う予定にしていたが、コロナ急拡大で内容変更・一部を中止した。

千曲市役所ガレリアにて1月17日～28日「さんきゅーあーと展」を実施。個人・団体・共同作品を展示し好評。こども部会は、1月17日福岡寿さん講演会「発達特性のあるお子さんを地域で育てるために～千曲・坂城モデルを考える～」をおこなった。コロナ拡大でオンライン開催とした。(事業所連絡会主催の権利擁護研修:中村稔幸さんの講演は集合形式の企画のため中止。)就労部会主催の販売会は、一部事業所を除きおこなわれた。

【協議事項】

①地域自立支援協議会の体制について

・会長職の承認。

R3年度は坂城町伊達課長が会長代行していたが、R4年度は新しい会長を選出する必要あり、事務局に一任され協議。⇒事務局からは、いなりやま福祉会 安藤理事長を提案し、賛同の挙手多数で承認となった。

(いなりやま福祉会 安藤氏)協議会会長という重責をいただくわけですが、基本的には皆さんと一緒に考え行動しながら、障害のある人もない人も住みやすい社会を目指していきたい。皆さんのご指導の中、重責を全うしていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いたします。

・組織図、運営委員の構成について

《組織図》 《運営委員会 構成員》

・要領の変更について

②千曲市障害者計画 中間報告について(千曲市のみ)

坂城町は本年作成し、中間年になっていない。障害者計画で、千曲市は6年計画中、昨年度は中間年。今年度内容を検証し、市内関係部署で精査お示しする。自立支援協議会の中で評価を受け、意見を反映し進めていきたい、意見等あれば市へお寄せいただきたい。

第4回事業所連絡会 (令和4年2月15日)

【報告】

①臨時運営委員会(令和4年1月25日)

②部会報告



【協議事項】

①地域活動支援センターの今後の協議について(千曲市 障がい者福祉係 林係長より)

今年度フリートークをしてきた。現状は創作活動及び生産活動の機会の提供等をおこなう基本的事業が主だととらえている。地域活動支援センターⅢ型(1日当たりの実利用人数がおおむね10人以上、障がい特性に応じた支援、通院又は入院支援、就労支援、ひきこもり支援等の必要な支援を行う事業)、について利用者さんにも入ってもらいフリートーク等を次年度もおこなう予定。協議会のみなさんにも議論していただきたい。

②地域生活支援拠点等整備について(千曲市 障がい者支援係 飯島係長より)

地域生活支援拠点等整備について(評価資料)、地域生活支援拠点整備に係る報酬 説明。

③令和3年度活動の振り返り・次年度(地域連絡会)への期待。

・部会は基本的に活動を止めないようにする。

・地域活動支援センターについて議論してもらえるのはよい・地域連絡会はやってみないとわからない・協力していけたら等の意見をいただいた。

○ 2021年度(令和3年度)各部会 から ○

年度末となり、2021年度活動報告と2022年度活動計画を各部会でまとめました。

今年度は集合形式はわずかで、大半がリモート開催となり、部会の持ち方等も苦慮されたことと思います。

そんな中で活躍されました各部会長のみなさんから、今年度のまとめのお声をいただきました。

【 相談支援部会 】

今年度は「相談支援事業所の体制確保」を中心に活動してまいりました。自立支援協議会で検討していただき、新たに2か所の事業所が指定を目指して手続きを進めて下さることになりました。相談支援専門員の質の担保を継続して行える体制づくりの強化を図るための第1歩とし進めることができたことに感謝いたします。また、個人としては、事業所連絡会等参加させていただき自分自身の学びの場としてとても良い経験をさせていただきました。今後もこの経験を活かし、協議会に参加して参りたいと考えております。行政、基幹相談支援センター、そして部会員の皆さまに支えて頂いたことに感謝いたします。ありがとうございました。

【 こども部会 】

昨年度から続いたリモート会議にもようやく慣れ、少しタイムラグが出てしまうやりとりもしょうがないかと受け入れての1年間でした。そんな中でも課題解決に向けて、千曲坂城だけでなく長野市の事業所・関係者の方にお話を聞くなど、課題解決に向けて様々な方法で部会を展開することができたのではないかと感じています。来年度部会長を下りても部会自体には出席し続けるので、微力ながら力になればと思っています。

【 生活支援部会 】

どこの事業所も新型コロナのために2年前の生活環境とは大きく変わってきています。そんな中でも、各事業所は利用者さんのためにたくさん工夫をしながら、この大変な時期を乗り切っているはずで、今年度部会に参加された事業所の現場での取り組み、工夫された支援をお聞きして参考になりました。良き実践はみんなでも共有、困難な課題はみんなで検討、みんなで取り組むことがより良い地域の体制づくりにつながるはずで、支援者間は顔の知った仲間になりたいですね。来年度も是非部会への参加をお待ちしています。

【 就労部会 】

今年度、就労部会長を務めさせていただきました、しょう×ちくまの西山です。

今年度は新たな取り組みとして、10月に「就労アセスメント」をテーマに相談支援部会と合同での部会を開催しました。他部会との連携の重要性を感じることができる良い機会になったと思います。

次年度も障がいがある方の「働きたい」気持ちに伝えるためにもより良い部会にしていければと思います。1年間、ありがとうございました。

【 さんさんネット部会 】

コロナ禍の中さんさんネット部会で初めて企画された合同作品展「さんきゅーあーと展」も、皆様のご協力により、無事開催・終了することが出来ました。結果は大成功！見てくださった一般の方にも協力していただき、素敵な『希望の丘』が完成しました。「なんて書いたらいいや」と言いながら皆さん気持ちよく参加してくださいました。本当に感謝です。次年度もまた・・・という声が多く聞かれました。チューリップの家のアドベントカレンダー製作以外イベントが出来なかったので明るい希望が持てました。展示方法等に少々失敗もありましたが、次年度の課題です。一生懸命作品を作ってくれた仲間たち、スタッフの皆さん、本当にご苦労様でした。

【 こころ支援部会 】

皆様、1年間お疲れ様でした。いつになったら、「withコロナ」でも心穏やかな日常が来るのでしょうか？もうしばらく窮屈な生活かもしれませんね。

さて、こころ支援部会は「Nimo包括」と題して「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム」構築に取り組み始めました。これは、当部会だけでは完成されるものではなく、生活や就労や多方面に連携していけたらと思っています。来年度もどうぞこころ支援部会を宜しく願い致します。

部会長さん、1年間ありがとうございました！！

さんきゅーあーと展★ぎゃらりー

〔稲荷山養護学校〕



〔まごころ〕



〔はなたば〕



【共同作品『希望の丘』】



〔いなりやま共同作業所〕



〔チューリップの家〕



※ 紙面の都合上、共同作品と団体作品のみ掲載しています

これからの協議会関係 予定

- ・5月に全体会を予定しております。
- ・各部会は、全体会をおこなってから、順次開催していく予定です。

千曲・坂城障がい者（児）

基幹相談支援センターより

相談支援員の東條です。このたび3月末をもちまして、自己都合により離職させていただくこととなりました。在職中は連携の大切さなどを皆さまから教えていただき、お力をお借りすることが多々あったかと思えます。本当にありがとうございました。4年間でしたが大変お世話になりました。またどこかでお会いすることがありましたら宜しく願いいたします。

事務局発行：千曲・坂城障がい者（児）基幹相談支援センター TEL：026-275-0548 FAX：214-3013

HPIはこちら⇒ cs-soudan.jimdoofree.com

Mail： cs-soudan@bh.wakwak.com

